

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和5年8月25日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和5年9月22日（金）
午前9時30分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

学びが広がる	1
	(賀茂地域教育振興センター)

◎9月の行事予定

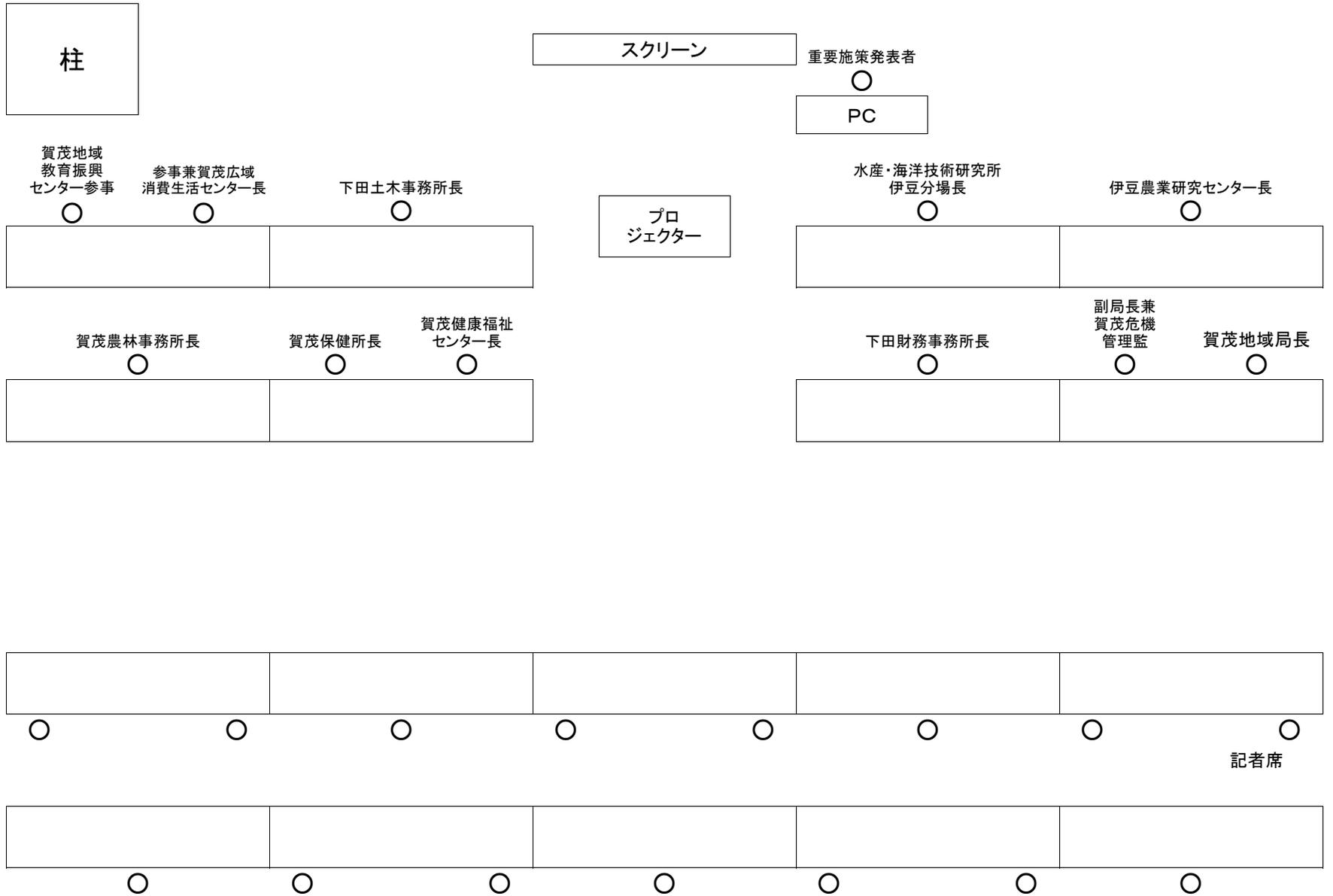
行事予定表	10
賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第30回講座	12
	(賀茂地域局地域課)
公開イブニングシンポジウム	14
	(賀茂地域局地域課)
「賀茂地域で輝く大人」紹介事業「賀茂のカリスマ」(カモスマ) 第3弾	15
	(賀茂地域局地域課)
賀茂地域広報PRグッズを作りました!	17
	(賀茂地域局地域課)
環境ビジネスを表彰する「静岡県SDGzビジネスアワード」応募受付中	18
	(環境政策課)
令和5年度総合防災訓練(本部運営訓練)の実施について	22
	(賀茂地域局危機管理課)
駿河湾フェリー等を活用した海上輸送訓練の実施について	23
	(賀茂地域局危機管理課)
防災講座の開催	29
	(賀茂地域局危機管理課)
令和5年度県税のしおり	
	(下田財務事務所)
講演会「黒潮大蛇行と磯焼け」の開催について	31
	(水産・海洋技術研究所伊豆分場)
静岡県・下田市一体型道路等包括管理委託業務に関する覚書締結	33
	(下田土木事務所)
「青野大師ダム教室」の開催について	34
	(下田土木事務所)
静岡県屋外広告物適正化旬間におけるパトロールの実施	36
	(下田土木事務所)
令和4年度消費生活相談の概要	40
	(賀茂広域消費生活センター)
下田市市民後見人養成講座フォローアップ講座の実施	42
	(賀茂広域消費生活センター)
消費者教育出前講座の実施(高校生等)	43
	(賀茂広域消費生活センター)

名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	しらとり みちひろ 白鳥 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
3	伊豆観光局長	いちかわ けん 市川 顯
4	下田財務事務所長	かみや あきよし 神谷 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき ふじお 鈴木 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	もろた りょう 諸田 僚
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	たねいし もとひろ 種石 始弘
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	よしかわ やすお 吉川 康夫
10	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま ひろあき 倉島 浩彰
12	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
13	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち たつお 白土 達夫
14	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

賀茂地域定例記者懇談会 座席表

(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



出入口

記者席

学びが広がる

令和5年8月25日（金）
賀茂地域教育振興センター

目まぐるしく時代が変化する中で、10年後・20年後に子供たちが社会に出て何か困ったことに出会っても、そこで立ちすくむことなく、目の前の課題をよりよく解決し、自分のよさや可能性、持ち味を十分に発揮できる資質・能力を育むため、子供たちの学びがどんどん広がっている様子をお伝えします。

今、学校は

令和3年1月26日

「令和の日本型学校教育の構築を目指して
～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、
協働的な学びの実現～（答申）」

中央教育審議会

- ・ 一斉に
- ・ 同じ場所
- ・ 同じ内容
- ・ 同じペース
- ・ 知識の暗記



- ・ 個に応じた学び
- ・ 多様性のある学び

令和3年1月26日に中央教育審議会から、「令和の日本型学校教育の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」という答申が出されました。

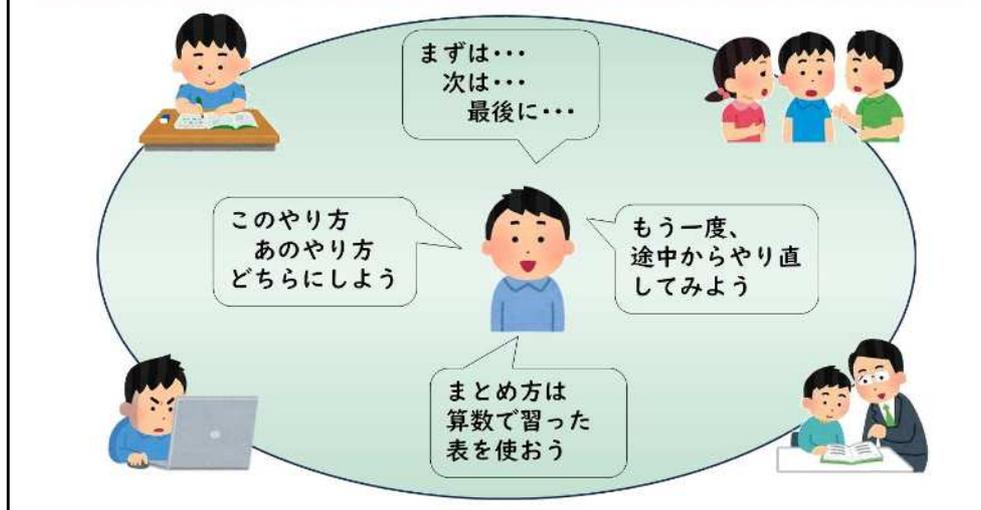
この答申の画期的な部分は、これまでの「みんなが、同じ場所で、同じような内容を、同じペースで学ぶ」いわゆる「みんな同じがみんないい」の発想を転換した点にあります。

今までの一斉型の授業を見直し、個に応じた学びや多様性のある学びに変えていくことで、すべての子供にとって最適な学びを実現するものです。

今、そのような学びに向けて、各学校で授業が工夫されています。

児童生徒が自己調整しながら 学習を進めていくことができるよう

自分に最適な学びを計画実行しながら学ぶ子供



もちろん、これまでの一斉型の授業が完全に否定されてるわけではありませんが、先生が敷いたルールの上を子供たちが言われたとおりに歩むのではなく、これからは、子供たちが自己調整をしながら、自分に最適な学びを計画実行しながら学ぶ場面が授業の中でも大事にされています。

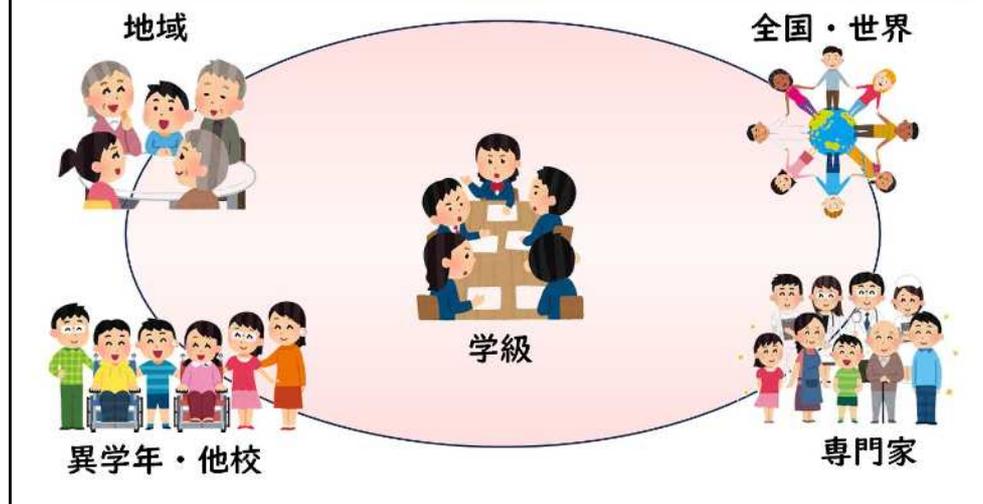
(自分で計画を立て見通しをもったり、選択・判断したり、活用したり、試行錯誤したりする力を育む)

そのため、教室をのぞいて見ると、同じ目標に向かい課題を解決する場面では、全員が黒板を向いて話を聞いている様子だけではなく、一つの教室の中で、一人で黙々と学習を進める子もいれば、一人一台端末を使っている子、友達と相談し合っている様子、先生に聞いている子など多様な学び方の様子が見られるようになってきました。

子供たちが多様に学びを広げているのです。

多様な他者と協働しながら、
持続可能な社会の創り手となることができるよう

あらゆる他者を価値ある存在として尊重しながら学ぶ子供



もう一つ、大切にされていることは、多様な他者と協働しながら、持続可能な社会の創り手となることができるように、たくさんの方と関わりながら学ぶ姿です。

これは今までも大切にされてきましたが、改めてその重要性が指摘されています。

例えば、ICTを活用することで、時間的・空間的な制約が緩和され、地域の方や専門家との関わりが容易になったり、全国や世界の多様な他者と協働したりするなど、教室にいても子供たちの学びはどんどん広がっています。

児童は、学校や家庭、地域にある様々な

人

もの

こと

に対して興味をもって関わったり、直接働きかけて関心を広げたりしていく。そして、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに考えを巡らせ、対象そのものや、それらが自分とどのように関わっているかを明らかにするなどの自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることが繰り返し行われる。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編

書き表し方・色の変更は土屋

これは、小学校1，2年生が学ぶ生活科の学習指導要領のなかにある言葉です。

子供たちは、ひと、もの、ことに対して興味をもって関わったり、直接働きかけて関心を広げたりしていく。そして、人々、社会及び自然との関わりに考えを巡らせ、（中略）考えることが繰り返し行われるとあります。

これは、1・2年生の指導要領なので、「身近な人々」となっていますが、年齢が上がるにつれて、関わる「人」「もの」「こと」の幅も大きく広がっていきます。

子供たちは、多様な他者との出会い、たくさんのものやこととの出会いのなかで、心が揺さぶられたり、新たな課題を発見したりしていきます。

つながる ～教育センター・他課・学校～

昨年度



消費生活センター
総合的な学習の時間

今年度

賀茂地域局
賀茂のカリスマ出前講座



中学校教員

仕事をするうえで大切にしていることについて話をしてほしい。また、子供たちがインタビューをする時間がほしいです。

地域の人や専門家から学ぶという点では、賀茂地域教育振興センターと他の課がつながり、授業に至った例もあります。

昨年度は、消費生活センターの方が、賀茂地域の小学校2校で、総合的な学習の時間に消費生活やSDG'sについて学ぶ機会を作ってくれました。

消費生活センターの方にこのようなことができるかと教えていただき、賀茂地域教育振興センターが学校に呼びかけました。

子供たちは、自分が消費者の一人、社会の一員であることを意識するきっかけとなり、自分ができること、気をつけることなどを深く考えました。

今年度は、現在進行中ですが、賀茂地域局の「賀茂のカリスマ出前講座」を学校に呼びかけています。

現在、松崎中学校で実施する調整を進めております。

学びを広げるという視点から、学校にとって、子供にとって、大変ありがたい機会をいただいたと感じています。

文化を軸として



(参加中学生の声)

- ・自分の知らなかった賀茂地区の文化を知ることができた。
- ・大人になって、賀茂に戻って貢献したいと思った。
- ・今から、地域の人とたくさんかかわっていきたい。

Dream授業 in 賀茂

令和5年8月3日(木)・4日(金)

学校の授業を離れたところでも、賀茂地区の子供たちがさまざまな方から学ぶ機会をいただいています。

県の教育政策課の企画によるDream授業では、今年度は東アジア文化都市に静岡県が選定された経緯もあり、中学生が大学生と共に2日間「文化」を軸に学びを深めました。

絵本作家の鈴木まもるさんのお話を聞いたり、西伊豆町のカネサ鰹節店で体験をしたり、それぞれが考える地域の文化の特色や継承について意見を交わし合ったりしました。

参加した中学生からは、「自分の知らなかった賀茂地区の文化を知ることができた。」「大人になって、賀茂に戻って貢献したいと思った。」

「今から、地域の人とたくさんかかわっていきたい。」などという声を聞くことができました。

(小・中学生) 喜びやあこがれ

- ・お兄さんに教えてもらったよ。 ・楽しかった。
- ・すごくはかどった。 ・分かりやすかった。

(高校・大学生) やりがいや希望

- ・教えることは難しい。 ・絶対に教師になる。
- ・来年も寺子屋に参加して、将来につなげたい。



しずおか寺子屋 i n 賀茂

令和5年8月7日(月)・8日(火)

また、県の社会教育課の企画によるしずおか寺子屋については小中学生103名が、下田総合庁舎に来て高校生・大学生から勉強を教わりました。

この機会は、小中学生にとっては普段触れ合うことのないお兄さん・お姉さんと接する中で、分かる喜びはもちろん、優しさや丁寧さに、このような存在になりたいとあこがれを抱いた子もいたことでしょう。

また、高校生・大学生は、教師を志していることもあり、一人一人に寄り添うことの大切さや教師になるためにこれから伸ばしていきたい力について見直すことができたりと、参加者が一方向ではなく、双方向によさが見いだせる機会となりました。

育てたい賀茂の子供像
自ら学び豊かな心でたくましく未来を切り拓いていく子供

令和5年度 賀茂地域教育振興センターグランドデザイン

令和5年6月 賀茂地域教育振興センター

賀茂地域教育振興方針

- 「賀茂は一つ」の思い、つな、な、が、るの精神を継承し、育ち、学びの場を創り出すこと
- 「賀茂の教育」の基盤を固め、学びの場を創り出すこと
- 学びの場を創り出すこと
- 学びの場を創り出すこと

教育振興事業計画の重点項目

- 多様な学びを創り出すこと
- 学びの場を創り出すこと
- 学びの場を創り出すこと
- 学びの場を創り出すこと

育てたい賀茂の子供像
自ら学び豊かな心でたくましく未来を切り拓いていく子供

賀茂の子供、賀茂の教育を支える賀茂地域教育振興センターの取組

一人一人を大切にしながら育む取組

- 多様な学びを創り出すこと
- 学びの場を創り出すこと
- 学びの場を創り出すこと
- 学びの場を創り出すこと

特定の女子生徒層に寄り添った教育の推進

- 女子生徒の学びを支えること
- 女子生徒の学びを支えること
- 女子生徒の学びを支えること
- 女子生徒の学びを支えること

誰にとっても居心地の良い環境

- 多様な学びを創り出すこと
- 学びの場を創り出すこと
- 学びの場を創り出すこと
- 学びの場を創り出すこと

【推進主要の力量向上】

- 教育振興事業計画の推進
- 社会教育アドバイザー・協賛者の活用
- ICT/AI/AI学習

【他課との連携】

- 健康課・児童課・福祉課
- 子育て支援課・社会教育課
- 生涯学習課・生涯学習課

園・小・中の学びが
重なり合い、
未来につながるように

子供たちが様々な
「人」「もの」「こと」に
出会えるように

こちらは、賀茂地域教育振興センターの今年度のグランドデザインです。今年度は「つながる」をテーマに、園・小学校・中学校の学びが重なり合い、将来につながるように、そして、さまざまな「人」「もの」「こと」と子供たちが出会えるように、ここにいらっしゃる様々な分野の方々と園や学校をつなげていけたらと思います。

行事予定表（令和5年9月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	金	防災講座 15:00-16:30 南上小学校				
2	土					
3	日					
4	月	防災講座 9:10-9:55 浜崎小学校				屋外広告物パトロール 9:00(下田市)、13:30(南伊豆町)
5	火	防災講座 13:40-15:15 河津小学校				静岡県・下田市一体型道路等包括管理委託業務に関する覚書締結式 13:15～下田総合庁舎2階第6会議室
6	水	海上輸送訓練 14:50～ 松崎港				屋外広告物パトロール 10:00(東伊豆町)、13:30(河津町)
7	木	防災講座 8:25-12:05 稲梓小学校				屋外広告物パトロール 10:00(松崎町)、13:30(西伊豆町)
8	金					
9	土					
10	日					
11	月	①防災講座 ②防災講座 ①10:30-11:30 稲生沢こども園 ②13:25-14:10 朝日小学校				
12	火	防災講座 9:05-10:40 賀茂小学校				
13	水	防災講座 10:30-11:30 ひかり保育園				
14	木	防災講座 13:00-13:45 下田小学校				青野大師ダム ダム教室 9:20～(南上小学校1.2.4年生)
15	金	防災講座 10:00-11:00 下田認定こども園				青野大師ダム ダム教室 9:20～10:30(白浜小学校4年生) 10:20～11:30(南中小学校3年生)
16	土					
17	日					
18	月					
19	火					
20	水					
21	木	①防災講座 ②防災講座 ①9:10-9:55 松崎小学校 ②13:20-14:55 稲生沢小学校				
22	金	①定例記者懇談会 ②防災講座 ①9:30～ 賀茂キャンパス ②9:30-11:00 南伊豆認定こども園				
23	土					
24	日					
25	月	①防災講座 ②防災講座 ①9:30-10:30 賀茂危機管理庁舎 ②15:20-16:10 下田高校				
26	火	防災講座 9:25-12:10 白浜小学校				
27	水	防災講座 10:00-11:00 下田認定こども園				
28	木					
29	金					
30	土					

行事予定表（令和5年9月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	金					
2	土					
3	日					
4	月					
5	火					
6	水					
7	木					
8	金					
9	土					
10	日					
11	月					
12	火				賀茂地域幼小接続推進研修会 14:00～賀茂教育会館 大会議室	
13	水					
14	木					
15	金					
16	土					
17	日					
18	月					
19	火					
20	水					
21	木					学生・企業等向けセミナー⑤ 18:30～20:30 三島市
22	金					
23	土					
24	日					
25	月					
26	火					
27	水			17:40～19:00 県立下田高校定時制出前講座		
28	木					
29	金					デジタルスタンプラリー ～11/30
30	土					↓

令和5年8月25日

定例記者懇談会資料

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第30回講座

(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による「観光人材育成のための社会人講座」の第30回講座を令和5年9月15日（金）に実施する。

※参加費は無料、毎月1回開講予定（単発の参加可）

(概要)

日時	第30回 令和5年9月15日（金） 13:30～15:00 ※毎月1回継続実施
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに協力願います。
内容	講師：静岡県立大学大学院 ツーリズム研究センター カウクルアムアン アムナー 准教授 演題：『インバウンド向けガストロノミーツーリズム戦略』
対象	県民（定員48人）
参加費	無料
申込	 QRコードからの申込、もしくは、 静岡県立大学ツーリズム研究センターのメール：trc@u-shizuoka-ken.ac.jp、 又はFAX：054-264-5476に氏名、所属、電話番号を記入の上、お申込みください。 ※定員に達した場合は、参加をお断りすることがあります。
問合先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2204 主催：静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 共催：静岡県賀茂地域局

担当：賀茂地域局地域課

連絡先：0558-24-2204

賀茂キャンパス 観光人材育成のための 社会人講座

主催：静岡県立大学ツーリズム研究センター
協賛：静岡県賀茂キャンパス活用推進委員会

2023年度 第30回(毎月1回開講します)

9月15日(金) 13:30~15:00

静岡県下田総合庁舎内賀茂キャンパス(下田市中531-1)

インバウンド向けガストロノミーツーリズム戦略

講師：カウクルアムアン アムナー

静岡県立大学大学院ツーリズム研究センター准教授
タイ国出身 首都大学東京博士課程観光科学域修了。
和歌山大学を経て、2019年より静岡県立大学経営情報
学部准教授
研究テーマは「日本とタイに繋がる茶観光の展開」



ガストロノミーツーリズムは、「その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的としたツーリズム」です。この定義によると料理は単に食品というだけではなく、地域の魅力的な食文化としての観光商品となります。当講座ではインバウンド観光マーケティングに対してガストロノミーツーリズムの観光商品をどのように発展させるのかを考えていきます。また、訪日外国人を誘致するための観光戦略について解説します。

働きながら学べる最新の観光情報。無料で参加できます。

メール、FAXもしくはQRコード
からお申込みください。

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科付属
ツーリズム研究センター

Mail: trc@u-shizuoka-ken.ac.jp
FAX : 054-264-5476



地域を育む 食文化観光 —トルコと日本— Izu & Izmir

本シンポジウムは、静岡文化芸術大学とトルコのイズミル経済大学の学生が「ガストロノミー+」をテーマに行う産学共同国際デザインワークショップの事前学習を皆さまと共有するものです。

トルコ第三の貿易都市であり、ヨーロッパから多くの観光客が訪れる国際都市イズミル。温暖な気候や豊かな自然に恵まれたイズミルが展開する歴史と風土を背景とした食文化観光(ガストロノミー・ツーリズム)計画に触れ、伊豆賀茂地域の観光資源や課題の再考とともに、地域を育むツーリズムについてディスカッションを行います。

パネリスト



岡部克仁
(南伊豆町長)



木下直美
(南伊豆町観光協会会長)



Ahmet Can Özcan
(イズミル経済大学 准教授)



Elif Kocabiyik
(イズミル経済大学 講師)

コーディネーター



高山靖子
(静岡文化芸術大学 教授)



Edward Sarich
(静岡文化芸術大学 教授)



日時：2023年8月30日(水) 18:00 – 19:45
場所：下田総合庁舎別館 2階
賀茂キャンパス (17:45 受付開始)

募集定員：100名
参加費：無料(要申込)
参加資格：高校生以上
申込方法：HP登録フォームまたは電話・FAX
※南伊豆町HPにリンクあり



問い合わせ
南伊豆町役場 企画課
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
Tel.0558-62-6 2 8 8(代) Fax.0558-62-1119

共催：静岡文化芸術大学 南伊豆町
協力：静岡県賀茂地域局 東伊豆町

「賀茂地域で輝く大人」紹介事業「賀茂のカリスマ」(カモスマ) 第3弾
 ～ Uターン カモスマが出前講座を実施します！ ～

(賀茂地域局)

1 要 旨

賀茂地域で活躍している輝く大人を「賀茂のカリスマ」(カモスマ) として紹介・発信する事業を下記のとおり実施することにより、この地域の仕事や活躍できる場、ライフスタイル等を再認識してもらい、賀茂地域に住み続けたいと思えるきっかけ作りを行う。

2 事業内容

(1) 紹介する「賀茂のカリスマ」(カモスマ) <第3弾>

※敬称略

	氏 名	会 社 名	市町名	公開日
1	土屋 尊司	民宿勝五郎	下田市	9/ 6
2	藤井 幸光、藤井 千代美(夫妻)	藤井わさび園	西伊豆町	9/13
3	御法川 輝雄	ワインとお肉料理 レストラン MINORIKAWA	下田市	9/20
4	板橋 隼平	株式会社 NEED U	下田市	9/27
5	渡邊 純平	直売所南伊豆湯の花	南伊豆町	今後調整
6	小池 美帆	合同会社愛菜花	東伊豆町	今後調整
7	矢島 彩香	おやつのお店 秘密のぬけあな	河津町	今後調整
8	土屋 人	三余農園	松崎町	今後調整

今回は、本事業の「第3弾」として「Uターン」に焦点を当てて実施する。賀茂地域の児童・生徒を対象に行った昨年のアンケート結果(別紙)を踏まえ、進学等で一度は地元を離れても、将来的に賀茂地域に帰ってきたいと思えるように、Uターンをして活躍している「カモスマ」から、その経緯やきっかけ、その結果実現できた夢や仕事等を語ってもらい、下記(2)、(3)により紹介・発信する。

(2) 動画配信

令和5年9月6日(水)から毎週、県公式YouTubeチャンネル(19ch 賀茂のカリスマ)で動画を配信する。併せて、効果的な広報を行うため、地元紙(伊豆新聞)、地元ケーブルテレビ各社等により地元住民への発信を行う。

(3) 出前講座

学校における進路指導やキャリア教育等を目的として、出前講座を実施する。

日 時	令和5年9月5日(火) 13:30~15:20
場 所	松崎中学校(松崎町江奈307)
対 象	中学2年生(37人)
内 容	①カモスマによる自己紹介・仕事等の概要説明 ②グループに分かれ、職業を決めるうえで大切にすべきこと等について、カモスマへの質疑応答形式
参加予定カモスマ	1土屋 尊司、3御法川 輝雄、5渡邊 純平、8土屋 人(敬称略) ※参加者は変更となる場合があります。

※ 学校での取材を御希望される場合は、事前に下記担当まで御連絡願います。

担 当：地域課 西ヶ谷
 連絡先：0558-24-2204

😊 静岡県賀茂地域局からのお知らせです。

『賀茂の子』が育つ地域づくりに向けて!

※賀茂地域の1市5町と静岡県賀茂地域局で構成する「賀茂地域広域連携会議」では、『賀茂の子』づくりなど賀茂地域の様々な課題解決のための取り組みを進めています。

『賀茂の子』とは
“賀茂はひとつ”の
想いのもと、
ふるさとに誇りを持ち、
地域の発展に
貢献できる人。

◎賀茂地域の学生・住民の皆さんを対象にアンケートを行いました。

学生 アンケート

対象

- 賀茂地域の小6・中3・高3の児童・生徒
- 調査期間:2022.9/1~9/15 回答数:1,027人

住民 アンケート

対象

- 賀茂地域の全住民
- 調査期間:2022.12/1~12/28 回答数:1,021人

Q 今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか?



●小・中・高全体で「はい」が28%、前回調査の32%と比べて4ポイントの減少。調査開始から3期連続の減少となった。

理由

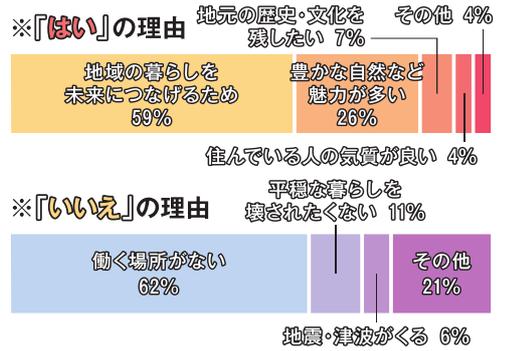
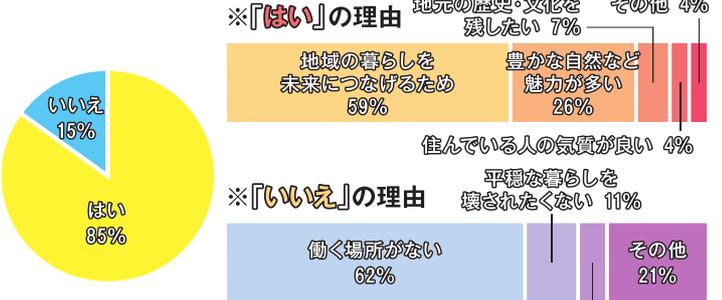
※「はい」(住んでいたい)の理由



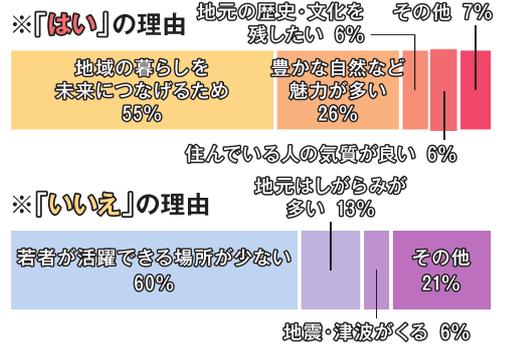
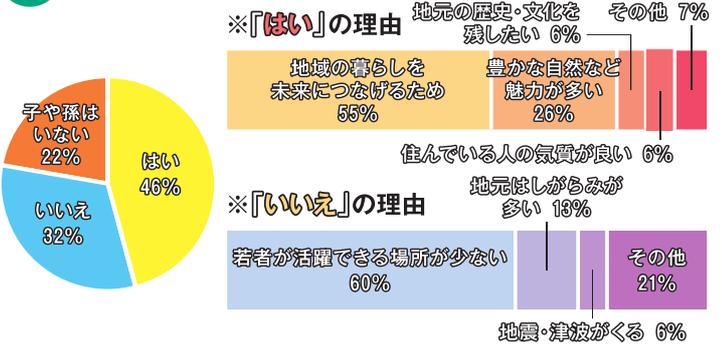
※「いいえ」(住んでたくない)の理由



Q 将来的にたくさんの人に地元に住んでほしいと思いますか?



Q あなたのお子さんやお孫さんに将来的に地元に住んでほしいと思いますか?



◎静岡県では、『賀茂の子』を育てるこんな取り組みをしています。

●高校生のための観光講座 今年度開催 6/17・7/15



高校生向けに観光をテーマとした出前講座を開催(県大)

●未来を切り拓くDream授業・賀茂版 今年度開催 8/3・4



賀茂地域1市5町の教育委員会と連携、賀茂地域にゆかりのある講師による講義

●アカデミックサマースクール 今年度開催 8/5



高校生と大学生が講義やフィールドワークを通じて地域の魅力を再発見する(県大)

●しずおか寺子屋 IN 賀茂 今年度開催 8/7・8



賀茂地域の小中学生に高校生・大学生と一緒に学習支援をするともに交流

※詳細は下記の連絡先までお問合せください。

◎賀茂のカリスマ(カモスマ)~賀茂地域で輝く大人

賀茂地域で

- 自分のやりたい仕事をいきいきとしている
 - 地域の資源を生かした仕事をしている
 - 地域に魅力を感じ、地域にこだわって活躍している
- …人々を地元住民へ紹介しています!

新聞記事の掲載

- (2020年8月~10月)
- 12人を紹介。冊子として県HPに公開中



映像コンテンツの配信

- 5~10分程度の動画で紹介
- 県YouTubeチャンネル
- 管内ケーブルテレビ



YouTube再生リスト

■アンケートの詳しい結果等は、賀茂地域局のホームページをご覧ください。

お問合せ 静岡県賀茂地域局 ☎0558-24-2202

賀茂地域広報PRグッズを作りました！

(賀茂地域局)

1 概要

移住定住の促進及び地域の子どもたちの郷土愛醸成を目的とし、賀茂地域を魅力的に静岡県内外に紹介する広報PRグッズ（ノベルティ）を制作。

2 今後の活用方法

- ・関東圏での移住フェアや地域のイベント等で配布することで、「賀茂地域」の知名度向上、移住者及び関係人口の増加につなげる。
- ・イベント等で地域の子どもたちに配布することで、地域の魅力を再発見する機会を創出させ、郷土愛醸成につなげる。

3 制作グッズ

左：ファイルバッグ（地域局担当）、右：トートバッグ（土屋尊司氏）



4 デザイン

- ・賀茂地域1市5町の魅力を詰め込んだ温かみのあるデザインを発注。
- ・「Welcome to KAMO」には移住や観光など、何らかの形で賀茂地域に訪れてほしいという思いが込められている。
- ・デザインは、下田市出身、Uターンして民宿勝五郎（下田市白浜）を営む傍らイラストレーターとしても活躍している土屋尊司氏が制作。

担当：地域課 野村
連絡先：0558-24-2202

令和5年8月25日

定例記者懇談会資料

環境ビジネスを表彰する「静岡県SDGsビジネスアワード」応募受付中

(くらし・環境部 環境局 環境政策課)

県内環境ビジネスの拡大に向け、環境課題解決に貢献する事業アイデアを幅広く募集する「静岡県SDGsビジネスアワード」の応募を受付中です。採択団体は、専門家とのブラッシュアップを実施後、最終的な事業アイデアが表彰されます。

昨年度伊豆地域からは、古道の再生や森林整備等伊豆半島の自然環境を循環させながら、アクティビティや宿泊施設を提供するサステイナブルツーリズム事業を提案した株式会社BASE TRES（松崎町）が、優秀賞を受賞しました。

1 募集概要

(1) 募集期間 9月30日（土）まで

(2) 募集テーマ 静岡県内における環境課題の解決に貢献する事業アイデア

(3) 応募資格 以下3つの条件を満たすこと。

・静岡県をフィールドとして環境ビジネスに取り組んでいる、もしくは、これから取り組みたい法人であること

・静岡県内に事業拠点があること、もしくは静岡県内の事業者等と連携している法人であること

・成果発表会等、所定のイベント等に出席可能であること

(4) 応募方法・応募のポイント等

特設HP掲載の応募用紙に記入し、メールにて送付。

8月23日（水）に開催した募集説明会の様子を特設HPからご覧いただけます。

(5) 採択・表彰

7団体程度を採択し、事業アイデアのブラッシュアップを実施後、表彰。

(静岡県知事賞 1件、優秀賞 3件程度、奨励賞 3件程度)

※詳細は特設HPをご確認ください。

<https://www.shizuoka-sdgs-business-award.com>➤



2 静岡県SDGsビジネスアワードの紹介動画

静岡県SDGsビジネスアワード事業及び令和3年度受賞団体の事例紹介の動画を静岡県公式ホームページ及びYoutubeチャンネルにて公開しています。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/kankyo/1051027/1053505.html>➤



担当：企画班 小野寺
連絡先：054-221-2919



SDGS BUSINESS AWARD 2023

SHIZUOKA

静岡県SDGsビジネスアワード

未来をつくる
環境ビジネスを
表彰します



応募受付中

静岡県知事賞
1団体

優秀賞
3団体程度

奨励賞
3団体程度

地球規模の環境問題が深刻化する中で、各界がSDGsの達成に向けて動き出しています。また、ESG金融の急速な普及拡大など、環境保全と経済成長の好循環の実現に向けた機運が高まりつつあります。このような潮流を踏まえ、静岡県では、環境ビジネスに取り組んでいる法人、もしくは、これから環境ビジネスに取り組みたい法人を対象とし、自社で実施する前提で、静岡県をフィールドとして環境課題の解決に貢献する事業アイデアを幅広く募集します。採択された事業アイデアについては、事業化に向けてメンタリングを実施。最終的な事業アイデアを「静岡県SDGsビジネスアワード」静岡県知事賞、優秀賞、奨励賞として表彰し、環境ビジネスの普及拡大を目指します。

応募締切:2023年
9月30日(土)



[2023.7.14現在]

詳しくは裏面をご覧ください。

静岡県SDGsビジネスアワード 検索



静岡県SDGsビジネスアワード

未来をつくる環境ビジネスを表彰します



ADMISSION 募集要項

▲応募条件

以下3つの条件を満たすこと ①環境ビジネスに取り組んでいる法人、もしくは、これから環境ビジネスに取り組みたい法人(業界・業種は不問/スタートアップ、中小企業、大企業、NPOなど法人の形態は不問/環境ビジネスに関する事業経験は不問)②静岡県内に事業拠点を持つ法人、もしくは、静岡県内の事業者等と連携している法人③所定のイベント等に出席可能であること(最終選考会、メンタリング期間中の月1回程度のミーティング、成果発表会など)

▲募集テーマ

SDGsを踏まえ、貴社で実施する前提で、静岡県をフィールドとして環境課題の解決に貢献する事業アイデアを練り上げて応募してください。※貴社で今すでに取り組んでいる内容を増強する事業アイデアでも、貴社で取り組みたい新規の事業アイデアでも構いません。

▲審査基準

以下の6つの観点から総合的に審査を行います。①事業に対する情熱(環境課題の解決に対して強い情熱があるか。当事者意識を持っているか)②環境課題解決への貢献度(地球環境や地域の環境問題の解決に対する効果が期待できるか)③経済性(中長期的に事業の採算性が見込めるポテンシャルはあるか)④革新性(新しい生活様式への対応や、IoT技術の活用など、既存の考え方にとらわれず、豊かな発想に基づいた事業内容であるか)⑤実現可能性(実施体制や過去実績など、事業の実現可能性が見込めるか)⑥将来発展性(将来における発展やそれに附随する波及効果が見込めるか)

SCHEDULE スケジュール

- 8月1日(火) アワード募集開始
- 8月23日(水) アワード募集説明会
-
- 9月30日(土) 募集締切
-
- 10月上旬 書面審査結果発表
- 10月18日(水) 最終選考会@Zoom
-
- 11月上旬 採択団体発表(報道発表、メール通知)
- 11月8日(水) キックオフミーティング
- 11月～2月 メンタリング期間
-
- 3月中旬 成果発表会&表彰式

MESSAGE 主催者メッセージ



高畑 英治

静岡県 暮らし・環境部長

地球規模での環境問題が深刻化し、国内でも環境課題解決に向けた取組やESG金融が拡大する中、企業活動等においてもSDGsの考え方を基に、環境・経済・社会の持続可能性の確保に向けた取組を図ることが重要となっております。こうした中、本県では、環境ビジネスを応援する「静岡県SDGsビジネスアワード」を引き続き開催いたします。3年目を迎える本アワードは、採択団体から、新たなつながりが生まれ活動の可能性が広がったなど、前向きな感想が多く寄せられています。また、メンタリングを含む支援体制や、多数の金融機関や企業等と連携している点が評価され、令和4年度「第2回 地方創生SDGs金融表彰」(内閣府)を受賞するなど、注目度も高まっています。本アワードを通じて、本県の環境ビジネスの一層の振興につなげてまいりたいと考えています。皆様の御応募を心からお待ちしております。

PRODUCER 総合プロデューサー



谷中 修吾

BBT大学大学院 経営学研究科MBA教授
BBT大学 経営学部 教授

静岡県河西市出身。ビジネスプロデューサー/クリエイティブディレクター。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻卒。外資・戦略コンサルティングファームを経て現職。国内最大級の地方創生イノベータープラットフォーム「INSPIRE」を立ち上げ、超絶まちづくりの集合知を社会にシェアする取組を展開。地方創生分野において、内閣府、総務省、環境省、農林水産省、文部科学省で有識者を務める。BBT大学では、大学院MBAと経営学部の専任教授としてビジネスリーダーの育成に従事し、2018～2022年は経営学部グローバル経営学科の学科長として4年の任期を務めた。著書『最後の縄文型ビジネス』(日本経済新聞出版社)。

MENTOR メンターのご紹介(※五十音順)



新谷 健司

株式会社 株経審判 代表取締役
株経ラフティー 代表取締役



飯倉 清太

事業型NPOオプライズ 代表
静岡大学 地域創生学環
審判教授



佐々木 真二郎

環境省
大東官房地域政策課
地域循環共生圏推進室長



白石 章二

ヤマハ発動機株式会社
企画・財務本部
経営改革推進アドバイザー



出口 裕一

株リコー
リコー環境事業開発センター
事業部長



内賞 研二

サンリーホールディングス株式会社
オスナビリティ経営推進本部
オスナビリティ推進部
専任部長



西村 やす子

物ぶのくに物産 代表取締役
後グレアファーム 代表取締役

主催

静岡県 (暮らし・環境部 環境政策課)

後援

環境省 関東地方環境事務所
財務省 東海財務局 静岡財務事務所
経済産業省 関東経済産業局

お問い合わせ

静岡県 環境資源協会(静岡県SDGsビジネスアワード事務局)

TEL: 054-270-6165

メール: award@siz-kankyoku.or.jp

URL: <https://www.shizuoka-sdgs-business-award.com>



静岡県SDGsビジネスアワード受賞団体一覧

2021年度

静岡県知事賞



TSK株式会社 (浜井市豊原)
 磁石で高速加熱する MAGHEAT(マグヒート)
 ~加熱は化石燃料から磁石燃料へ~

優秀賞



フジ物産株式会社 (静岡市清水区大塚)
 マグロの希少部位に光を

優秀賞



トコインラブ株式会社
 トライテック株式会社 (田方郡函南町桑原)
 潤えて無くなるものを創る
 ~SDGsの実現に貢献する次世代の解体技術への挑戦~

優秀賞



株式会社ホールアース (富士宮市下植野)
 富士山麓ジビエを通じた環境教育プラットフォームの創造
 ~全ての科類プロセスの実践知を教育プログラムに変換する~

優秀賞



Food Land
 フードランド&パートナーズ (浜松市北区三沙11町)
 農材の「農工複合体」が近未来をリノベーションする
 ~みかんから新産業を生み出す3.0プラットフォームの挑戦~

2021年
 受賞団体
 事例動画
 公開中!



2022年度

静岡県知事賞



HPC株式会社 (浜松市北区)
 株式会社浜松パルス (浜松市北区)
 光触媒で農業を改革
 ~光の力で腐らせない~

優秀賞



ミライデザインGX
 株式会社ミライデザインGX (東京都) &
 株式会社ヘパリア (静岡市清水区)
 ガチャが地球を救う。グッドミライプロジェクト ハビタベ

奨励賞



HoloLight株式会社 (浜松市東区)
 パイフオトニクス株式会社 (浜松市東区)
 特殊なLED光を用いた鳥獣対策
 ~グリーンでスマートな進い払いによる自然との共生~

優秀賞



Kanuc株式会社 (藤枝市)
 カナック処理で日本ものづくりに貢献!
 ・製品生産数が2.2倍に向上
 ・CO2 排出量は1/3に削減

奨励賞



アステック開発 (浜松市北区)
 有限会社アステック開発 (浜松市北区)
 独自の技術の融合で検査のムダを排除
 ~電磁気応用技術~

奨励賞



i-SEC株式会社 (浜松市東区)
 ふじのくに i-SEC (浜松市東区)
 静岡県異業種アライアンスによる未利用資源を
 活用した持続可能な昆虫食品産業の創出

優秀賞



株式会社 BASE TRBS (松崎町)
 伊豆半島の「山と海を環る」自然環境を
 全方位に活用した観光・環境ビジネス

奨励賞



nanoxi x group
 一般社団法人ナノキシーグループ (静岡市清水区)
 廃プラスチックゴミの地産地消プロジェクト





令和5年度総合防災訓練（本部運営訓練）の実施について

（賀茂地域局）

（目的）

令和5年度に実施してきた各種の訓練や研修を踏まえ、大規模地震が発生した場合を想定した本部運営訓練（図上訓練）を実施する。

県が実施する災害応急対策の習熟・検証を図るとともに、国、市町及び防災関係機関との連携を一層強化する。

（概要）

- 1 訓練日時 令和5年8月29日（火） 午前8：30～12：00（県下一斉）
- 2 訓練参加者（予定） 静岡県、賀茂管内市町、陸上自衛隊、下田海上保安部、下田警察
下田消防本部、沼津河川国道事務所、東京電力パワーグリッド(株)
DMAT、(一社)下田建設業協会
- 3 訓練会場 賀茂危機管理庁舎1階 各班室（健康福祉班訓練）
〃 3階 賀茂方面本部室（本部運営訓練）
〃 4階 特別会議室（会議運営訓練）
- 4 図上訓練スケジュール
午前8：30～ 訓練開始
午前11：10～ 第6回方面本部員会議（4階特別会議室）
午前11：45～ 賀茂方面本部長講評（12：00 訓練終了）
- 5 訓練重点項目
（1）「南海トラフ地震における静岡県広域受援計画」を踏まえた点検
（2）迅速かつ的確な情報収集・伝達
（3）防災関係機関及び各班との連携
- 6 訓練想定
・8月28日（月）午前8時30分頃、南海トラフ沿いで巨大地震が発生。
・地震発生から24時間経過した想定で訓練を実施する。
・建物倒壊や火災等の発生。大津波襲来により沿岸部で著しい被害。
- 7 その他
・中止することが必要と判断される事象が生じた場合は訓練を中止します。
・訓練中の職員に対する取材は御遠慮願います。

担当：危機管理課
連絡先：0558-24-2004



伊豆西部における海からの防災ネットワークの形成に向けて ～駿河湾フェリー等を活用した海上輸送訓練を初めて実施します～

(賀茂地域局 危機管理課)

豪雨災害等の大規模災害発生時に、陸路による支援が困難となる場合に備え、海からの支援体制を強化（※命のみなどネットワークの形成）するため、静岡県、清水港湾事務所、松崎町は、関係機関と合同で**9月6日(水)静岡県松崎港において、駿河湾フェリー等による入出港訓練・緊急物資輸送訓練等を実施します。**

(本訓練は、西伊豆地域沿岸部において豪雨による土砂災害が発生し、陸路による支援が困難となる場合を想定。なお、**駿河湾フェリーを活用した緊急物資輸送訓練は、初めての実施**)

※災害時の陸路分断等を想定して、“みなど”の機能を最大限活用して海上輸送による救助・救援や物資輸送等の災害対応支援を行うための、物流・人流ネットワークのこと。(https://www.mlit.go.jp/report/press/port07_hh_000182.html)

記

1. 主な訓練内容 ※海上ルートの詳細は別紙1を参照

- ①駿河湾フェリーを活用し、清水港・松崎港における入出港訓練及び災害対策車両の乗降訓練
- ②旅客船を活用した、堂ヶ島から松崎港への被災者移送訓練
- ③清水港から松崎港へ駿河湾フェリーによる緊急物資の輸送・荷下ろし訓練
- ④松崎港における駿河湾フェリーからの給水支援訓練

2. 主催

静岡県 交通基盤部 港湾局、経営管理部 賀茂地域局
国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所
松崎町

3. 参加予定機関

静岡県、国土交通省中部地方整備局（港湾空港部・清水港湾事務所・静岡国道事務所・静岡河川事務所・沼津河川国道事務所、静岡営繕事務所）、静岡市、下田市、伊豆市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、(一社)ふじさん駿河湾フェリー、富士山清水港クルーズ(株)、堂ヶ島マリン(株)、清水港港湾建設工事安全協議会、日本港湾空港建設協会静岡県支部、清水海上保安部、下田海上保安部、国土交通省中部運輸局（静岡運輸支局・下田海事事務所）、(株)ウインディーネットワーク

4. 当日のタイムスケジュール(予定) ※場所の詳細は別紙2、3を参照

9月6日(水)

(清水港)

12:45 プレス受付

13:15 駿河湾フェリー発着場にて各種車両が乗船

13:45 駿河湾フェリーが清水港を出港

(松崎港)

14:50 プレス受付(松崎港のみ取材される場合)

15:10 被災者を乗せた旅客船が松崎港に入港

15:20 駿河湾フェリーが松崎港に入港

15:20 災害対策車両等の下船開始

15:45 災害対策車両の展示、被災者が駿河湾フェリーに乗船、クレーン付きトラックにより緊急物資を荷下ろし、駿河湾フェリーからの給水支援

16:15 訓練終了

16:50 駿河湾フェリーが松崎港を出港

18:25 駿河湾フェリーが清水港に入港

5. 問い合わせ先

静岡県 交通基盤部 港湾局 港湾企画課、港湾整備課

担当者：(企画) 澤田、鈴木、(整備) 佐野、笠井

電話番号：054-221-3056 (企画)、3754 (整備)

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

担当者：屋敷、神原

電話番号：054-352-4146

6. 取材に当たってのお願い

- ・取材を希望される場合は、別紙「取材登録」をご参照いただき、9月1日(金)12時までにメールにて申し込みください。
(問い合わせ先：屋敷・神原 電話番号：054-352-4146)
- ・取材当日は、社名が分かる腕章等を身に付けてください。
- ・駿河湾フェリーに乗船して取材いただくことは可能ですが、往路のみまたは復路のみの乗船はできません。
- ・船内では係員の指示に従ってください。また、車両(二輪車を含む)を伴ってのご乗船はできません。
- ・なお、当日の天候によっては急遽中止となる可能性がございますので、その場合は取材の申し込みを頂いた方宛に、9月6日9:00までにご連絡させていただきます(予備日は設定しておりません)。

担当：危機管理課 中井

連絡先：0558-24-2004

別紙1



駿河湾フェリーによる緊急支援物資、
災害対策車両の輸送

旅客船による被災者の移送



「工事中」がみらいをつくる！どぼくってオモシロイ！
静岡岡県交通基盤部

別紙2

取材対応場所(清水港) 清水港 駿河湾フェリー乗り場

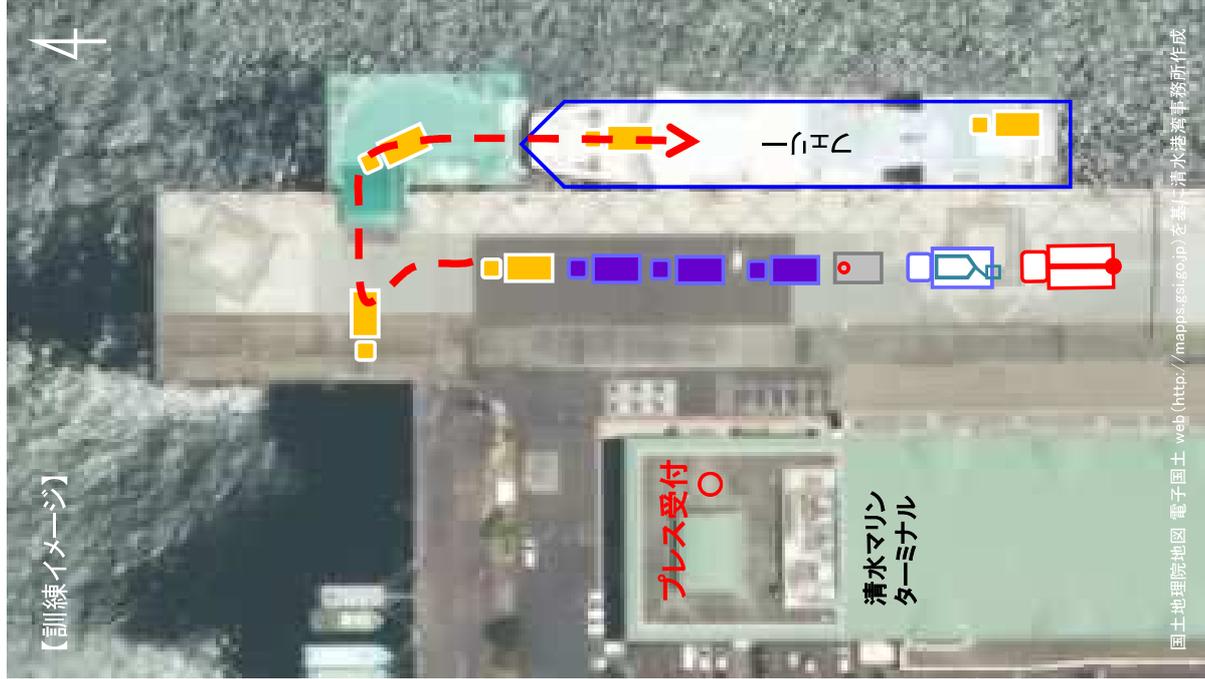
訓練会場



国土地理院地図 電子国土 web (<http://mapps.gsi.go.jp>) を基に清水港事務所作成

タイムスケジュール
 (プレス受付 清水マリンターミナル1階 12時45分～)
 12:45～ 災害対策車両、緊急物資輸送車両が
 駿河湾フェリー乗り場で待機
 13:15～13:45 災害対策車両、緊急支援物資輸送車両が
 駿河湾フェリーに乗船
 13:45 駿河湾フェリー清水港を出港

※ 時間は概ねの目安であり、多少早まる可能性があります。ご注意ください。
 ※ 訓練内容は現時点での情報であり、変更する場合があります。



「工事中」がみらいをつくる！どぼくってオモシロイ！
静岡県交通基盤部



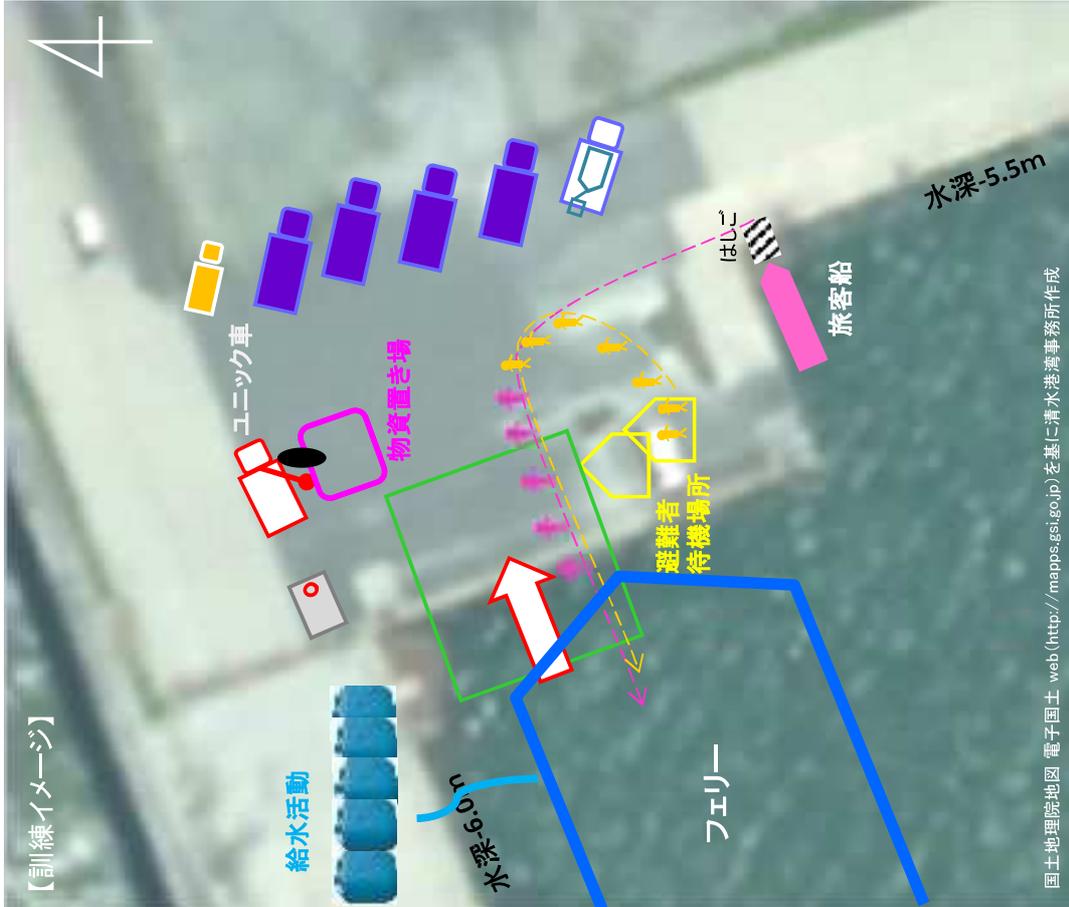
別紙3 取材対応場所(松崎港)

松崎港



国土地理院地図 電子国土 web (<http://mapps.gsi.go.jp>) を基に清水港湾事務所作成

- タイムスケジュール
 (プレス受付 松崎港内駐車場 14時50分～)
- 15:10 旅客船が入港
 - 15:20 駿河湾フェリーが入港
 - 15:20～ 災害対策車両、緊急物資輸送車両 下船
 - 車両展示、被災者がフェリーに乗船、緊急支援物資荷下ろし、フェリーからの給水支援
 - 16:15 訓練終了
 - 16:50 駿河湾フェリーが松崎港を出港(18:25清水港入港)



【訓練イメージ】

国土地理院地図 電子国土 web (<http://mapps.gsi.go.jp>) を基に清水港湾事務所作成

- ※ 時間は概ねの目安であり、多少早まる可能性があります。
- ※ 訓練内容は現時点での情報であり、変更する場合があります。





「工事中」がみらいをつくる！どぼくってオモシロイ！

静岡県交通基盤部



メール送信先:kouwan_kikaku@pref.shizuoka.lg.jp (静岡県:澤田、鈴木 宛)

取材登録

※取材をご希望の場合は、事前に以下の記載事項を電子メールにて送付いただくようお願いいたします。

【記載事項】

1. 報道機関名

2. 取材者(複数名の場合は全員分)

①ご氏名

②ご役職

③ご年齢(乗船しての取材を希望の場合)

3. 取材のご希望

①清水港駿河湾フェリー乗り場での取材 有 ・ 無

②松崎港での取材 有 ・ 無

③フェリー乗船(往復のみ・車両不可) 有 ・ 無

4. 連絡先

①電話番号

②当日に連絡可能な携帯電話番号(4. ①と同じ場合は不要)

申込締切:令和5年9月1日(金) 12:00

以上



駿河湾フェリー

定例記者懇談会資料

防災講座の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

(目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

(概要)

実施日時	実施場所	実施対象	内容等	備考
9月1日(金) 15:00~16:30	南上小学校 (南伊豆町)	職員	IDEA	
9月4日(月) 9:10~9:55	浜崎小学校 (下田市)	4年生	風水害講座	
9月5日(火) 13:40~15:15	河津小学校 (河津町)	4年生	サバイバル	
9月7日(木) 8:25~12:05	稲梓小学校 (下田市)	全校	かるた、サバイバル、ICT、イメトレ、地震体験	
9月11日(月) 10:30~11:30	稲生沢こども園 (下田市)	全園児	防災ダック、地震体験	
9月11日(月) 13:25~14:10	朝日小学校 (下田市)	5年生	風水害講座	
9月12日(火) 9:05~10:40	賀茂小学校 (西伊豆町)	6年生	ICT、ジュニアHUG、地震体験	
9月13日(水) 10:30~11:30	ひかり保育園 (下田市)	全園児	防災ダック、地震体験	
9月14日(木) 13:00~13:45	下田小学校 (下田市)	4年生	サバイバル	
9月15日(金) 10:00~11:00	下田認定こども園 (下田市)	4・5歳児	訓練視察、地震体験	
9月21日(木) 9:10~9:55	松崎小学校 (松崎町)	4年生	サバイバル	
9月21日(木) 13:20~14:55	稲生沢小学校 (下田市)	5年生	災判ゲーム	
9月22日(金) 9:30~11:00	南伊豆認定こども園 (南伊豆町)	5歳児 保護者	防災ダック、地震体験	
9月25日(月) 9:30~10:30	稲生沢小学校 (下田市)	4年生	庁舎見学	

9月25日(月) 15:20～16:10	下田高校 (下田市)	1・2年生	未定	
9月26日(火) 9:25～12:10	白浜小学校 (下田市)	全校	かるた、サバイバル、災判ゲーム、地震体験	
9月27日(水) 10:00～11:00	下田認定こども園 (下田市)	保護者	サバイバル	

(計 17回)

(講座内容 (抜粋))

【サバイバルスキルアップ講座】

いくつかのサバイバル術を、ご要望 (内容や時間等) にあわせて設定します。

レクレーション感覚でサバイバルスキルアップを図ります。

- ・ 簡易なけが人搬送方法

例えば衣服と棒を用いた応急担架の作り方や、徒手による単独または複数名での搬送法などを紹介します。

- ・ 古新聞でつくる応急用の薪、スリッパなどの紹介

新聞紙の再利用。スリッパは低学年の児童でも折り紙感覚で作ることができます。

- ・ 簡易トイレ紹介

学校でワックスがけをしたときにでる缶を使って簡易トイレができます。段ボールや新聞紙で、自分専用の便座を作ってみます。

(お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨をご連絡くださいますようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 鈴木

連絡先：0558-24-2004

定例記者懇談会資料

講演会「黒潮大蛇行と磯焼け」の開催について

(水産・海洋技術研究所伊豆分場)

南伊豆の海は磯焼けによりカジメの森が消え、アワビの水揚げも減少しています。現状を把握するため南伊豆町で磯焼け研究をしている専門家による講演会を開催します。みなさまぜひご参加ください。

日 時 令和5年9月13日(水) 15:30~17:00
場 所 南伊豆町役場湯けむりホーム(南伊豆町下賀茂 315-1)
講 師 静岡県水産・海洋技術研究所
伊豆分場 主任 長谷川雅俊
問い合わせ TEL 0558-62-6277 (南伊豆町地域整備課農林水産振興係)
主 催 南伊豆町
協 力 伊豆漁協南伊豆支所



磯焼けが発生した海域

【担当】

水産・海洋技術研究所伊豆分場
主任 長谷川雅俊
連絡先：0558 (22) 0835

いまの南伊豆の海の現状を把握しよう。そして対策を考えよう。

講演会「黒潮大蛇行と磯焼け」

カジメの森が消えた、アワビが痩せている、フダイの食害か？貝の水揚げも減少している。原因は黒潮大蛇行なのか？いま海の中で何が起きているのでしょうか。そして今後どうなるのか？

これからどういう対策をしたらよいのか？

まず今の現状を把握する必要があります。磯焼け研究をしている専門家の講演です。みなさまぜひご参加ください。



令和5年9月13日（水）15：30～17：00

会場 南伊豆町役場湯けむりホール
(南伊豆町下賀茂315-1)

講師 静岡県水産・海洋技術研究所
伊豆分場 長谷川雅俊 主任

参加方法 当日、直接会場にお越しください

問い合わせ 電話0558-62-6277 (南伊豆町地域整備課農林水産振興係)

**参加費
無料**

長谷川雅俊（はせがわまさとし）

昭和35年生まれ 63才

静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 研究科 主任

昭和57年3月東京水産大学水産学部資源増殖学科卒業（専攻 水産増殖学）

昭和57年4月静岡県水産試験場伊豆分場に勤務

静岡県水産試験場伊東分場、静岡県水産試験場浜名湖分場、静岡県水産課、静岡県水産試験場伊豆分場、静岡県水産技術研究所資源海洋科を経て、平成26年より伊豆分場勤務、令和2年より再任用職員として伊豆分場に勤務。

現在の担当は、磯根漁業、クエ栽培漁業、資源評価、漁海況情報提供。

平成28年東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用生命科学専攻博士後期課程修了、博士（海洋科学）の学位を得る。

（主催） 南伊豆町 （協力） 伊豆漁協南伊豆支所

画像提供：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場



静岡県・下田市一体型道路等包括管理委託業務に関する覚書締結 ～維持管理の新しい試みを始めます～



(下田土木事務所)

1 要旨

静岡県と下田市は、全国初となる異なる自治体が一体となって道路等を管理する委託業務を令和5年10月から始める。本委託は、従来、県では年4契約、市では個別案件約40契約だったものを一括契約とし、精算方法や検収方法を見直すことで、業務の効率化を図る。これに先立ち、この管理委託の覚書を県・市で締結する。

2 委託業務の概要

(1) 対象範囲

県管理道路 46.9km、市管理道路 236.1km

(2) 業務範囲

業務計画策定、モニタリング

道路維持業務

小規模修繕・舗装補修（雪氷対策含む）・道路照明施設維持

(3) 委託期間

令和5年10月1日～令和6年9月30日

3 締結式の概要

(1) 日時

令和5年9月4日（月） 午後1時15分から45分（30分間）

(2) 会場

静岡県下田総合庁舎2階第6会議室（下田市中531-1）

(3) 出席者

下田土木事務所長、下田市長

(4) 次第

1) 覚書への署名

2) 記念撮影

担当：企画検査課 大岡

電話：0558-24-2112

定例記者懇談会資料

あおのだいし
「青野大師ダム教室」の開催について

(下田土木事務所)

(概要)

下田土木事務所の管理する青野大師ダムにおいて、地元の小学生を招き、水の大切さ、ダムの仕組みや役割について学習してもらう「青野大師ダム教室」を開催する。

青野大師ダムは、南伊豆町を流れる二級河川青野川の支川である鈴野川に、洪水調節、流水の正常な機能維持、水道用水の確保を目的に建設された多目的ダムであり、平成18年8月から本格運用している。

(内容)

1 日 時

実施日	時 間	学校名	学 年	児童数
9月13日(水)	9:20-10:30	南伊豆町立 南上小学校	1年生 2年生 4年生	4名 8名 8名
9月14日(木)	9:20-10:30	下田市立 白浜小学校	4年生	10名
9月14日(木)	10:20-11:30	南伊豆町立 南中小学校	3年生	12名

(人数は暫定)

※南伊豆町に、大雨等の注意報以上が発令された場合は中止します。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、学校関係者と協議の上、中止とする場合があります。

2 場 所 青野大師ダム (南伊豆町青野)

3 内 容 ①ダム管理所での説明 (ダムの仕組みや役割について)
②ダム設備の見学 (取水ゲート操作室など、一般に出入り出来ない施設内部の見学)

4 その他 取材に来られる方は、ダム管理所までお越しください。
(付近に駐車スペースがあります。)
※ 別添青野大師ダムパンフレット参照のこと。

担 当 : 工事第1課 大橋
連絡先 : 0558-24-2114

昨年度のダム教室の様子



ダム管理所での説明



ダム堤体内見学



ダム施設見学



ダム施設見学

定例記者懇談会資料

静岡県屋外広告物適正化旬間におけるパトロールの実施

(下田土木事務所)

1 概要

県では、国土交通省が屋外広告物の適正化を一層推進するために定めた屋外広告物適正化旬間（毎年9月1日～10日）に合わせ、県内一斉のパトロールや啓発活動等を行っている。

下田土木事務所においても、管内各市町と合同で、違反屋外広告物のパトロール、簡易除却活動や安全管理の啓発活動等を実施する。

2 実施日程等

対象市町	実施日・集合時刻	集合場所	実施路線
下田市	9月4日(月) 9:00	県下田総合庁舎	国道135号・136号・414号、 県道下田石廊松崎線 ほか
南伊豆町	9月4日(月) 13:30	南伊豆町役場	
東伊豆町	9月5日(火) 10:00	東伊豆町役場	国道135号・414号、 県道下佐ヶ野谷津線 ほか
河津町	9月5日(火) 13:30	河津町役場	
松崎町	9月6日(水) 10:00	松崎町役場	国道136号 ほか
西伊豆町	9月6日(水) 13:30	西伊豆町役場 宇久須支所	

3 実施内容

- ・安全上問題のある屋外広告物や未確認の違反広告物の把握、是正指導
- ・屋外広告物法の規定に基づく簡易除却が可能な屋外広告物の除却作業
- ・法令や安全管理の普及啓発活動（チラシの配布）

4 参加者

静岡県下田土木事務所職員（2名）、対象市町職員（各回1名）

5 参考

配布チラシ、過去の適正化旬間事業の様子

担当：都市計画課 都市計画班
連絡先：0558-24-2110

9月1日～10日は

おくがいこうこくぶつてきせい かじゅんかん

「屋外広告物適正化旬間」です

～屋外広告物のルールを守って安全で美しいまちづくり～

屋外広告物とは…

◆ 屋外に設置する看板や広告です



屋外広告物を表示・設置するには…

- ◆ 許可が必要です (許可が不要な場合もあります)
- ◆ 地域により許可基準が異なります

～ 詳しくは、許可申請窓口 (裏面) にお問い合わせください ～

屋外広告物に関する事は
どこに聞けばいいの？

屋外広告物の許可申請窓口にお問い合わせください

静岡県屋外広告物条例が適用される区域			
市 町	許可申請窓口	所在地	電 話
東伊豆町 河津町 南伊豆町 松崎町 西伊豆町	静岡県 静岡市 下田土木事務所 都市計画課	下田市中531-1	0558-24-2110
函南町 清水町 長泉町 小山町		沼津市高島本町1-3	055-920-2221
吉田町 川根本町		島田市道悦5丁目7-1	0547-37-4181
森 町		袋井市山名町2の1	0538-42-3292
伊東市	伊東市 都市計画課	伊東市大原2丁目1-1	0557-32-1781
島田市	島田市 都市政策課	島田市中央町1-1	0547-36-7177
磐田市	磐田市 都市計画課	磐田市国府台3-1	0538-37-4907
焼津市	焼津市 都市計画課	焼津市本町2-16-32	054-626-2160
掛川市	掛川市 都市政策課	掛川市長谷1丁目1-1	0537-21-1151
藤枝市	藤枝市 都市政策課	藤枝市岡出山1丁目11-1	054-643-3373
下田市	下田市 建設課	下田市東本郷1丁目5-18	0558-22-2219
湖西市	湖西市 都市計画課	湖西市吉美3268	053-576-1693
伊豆市	伊豆市 都市計画課	伊豆市八幡500-1	0558-83-5206
御前崎市	御前崎市 都市政策課	御前崎市池新田5585	0537-29-8732
菊川市	菊川市 都市計画課	菊川市堀之内61	0537-35-0932
牧之原市	牧之原市 都市住宅課	牧之原市相良275	0548-53-2633

それぞれの市の屋外広告物条例が適用される区域			
市 町	許可申請窓口	所在地	電 話
静岡市	静岡市 建築総務課	静岡市葵区追手町5-1	054-221-1123
浜松市	浜松市 土地政策課	浜松市中区元城町103-2	053-457-2344
沼津市	沼津市 まちづくり指導課	沼津市御幸町16-1	055-934-4762
熱海市	熱海市 まちづくり課	熱海市中央町1-1	0557-86-6383
三島市	三島市 都市計画課	三島市北田町4-47	055-983-2631
富士宮市	富士宮市 都市計画課	富士宮市弓沢町150	0544-22-1408
富士市	富士市 建築土地対策課	富士市永田町1丁目100	0545-55-2796
御殿場市	御殿場市 都市計画課	御殿場市萩原483	0550-82-4240
袋井市	袋井市 都市計画課	袋井市新屋1丁目1-1	0538-44-3122
裾野市	裾野市 都市計画課	裾野市佐野1059	055-995-1829
伊豆の国市	伊豆の国市 都市計画課	伊豆の国市長岡340-1	055-948-2909

<参考> 許可申請書の作成(有償)に関すること 静岡県行政書士会 (電話:054-254-3003)

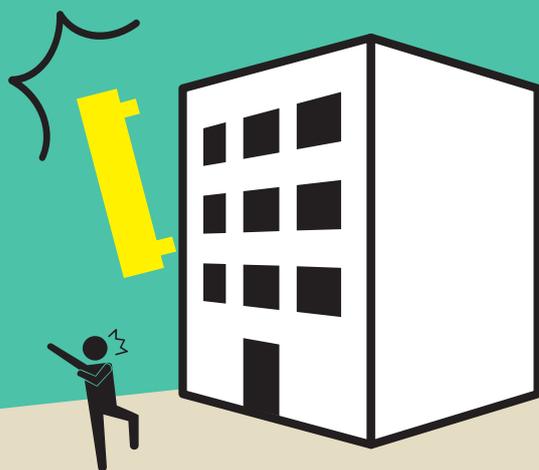
大丈夫ですか？

つけたままになっている

その看板

落下してからでは
もう遅いのです。

ちゃんと点検していますか？



こんな看板は要注意です。安全管理は設置者・管理者の責務です。



ブラケットの腐食



側板底面の腐食、破損



看板の傾き



支柱の腐食



パネル板の破損



照明器具の不点灯



令和4年度 消費生活相談の概要

(賀茂広域消費生活センター)

1 概要

令和4年度当センターに寄せられた消費生活相談は284件と、前年度比で139.9%増加し過去最多となりました。

年代別では70歳以上が全体の約4割を占めるなど、相変わらず高齢者からの相談が多い状況となっています。

販売購入形態別では通信販売が最も多く全体の約6割を占めており、特に「定期購入」に関する相談が前年度から急増しました。

2 相談件数

(1) 年度別件数

年 度	H30	R 元	R 2	R 3	R4	前年度比
件 数	266	233	265	203	284	139.9%

(2) 年代別件数【不明を除く】

(令和4年度)

年代	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
件数	7	14	19	26	46	50	105	267
割合	2.6%	5.3%	7.1%	9.7%	17.2%	18.7%	39.4%	100%

(3) 販売購入形態別件数【不明を除く】

		令和3年度		令和4年度	
		件数	構成比	件数	構成比
店舗購入		16	11.5%	30	15.5%
特殊販売	訪問販売	13	9.3%	15	7.8%
	通信販売	70	50.4%	121	62.7%
	マルチ・マルチまがい	4	2.9%	2	1.0%
	電話勧誘販売	29	20.9%	21	11.0%
	ネガティブ・オプション	1	0.7%	0	0.0%
	訪問購入	6	4.3%	2	1.0%
その他無店舗販売		0	0.0%	2	1.0%
計		139	100.0%	193	100.0%

3 令和4年度の特徴

○定期購入に関する相談の増加

年 度	R3	R4	前年度比
定期購入に関する 相談件数	9	48	533.3%

- ・定期購入に関する相談が前年度比で5倍以上増加しました。
- ・「初回特別価格」「お試し」などの広告を見て、1回限りのつもりで注文したものが実は定期購入だった、といった相談が多数寄せられました。

4 被害救済の状況

	令和3年度	令和4年度
件 数	37件	76件
金 額	16,372千円	12,486千円

- ・当センターに相談した結果、以下の①又は②に至った件数・金額を記載しています。

- ①クーリング・オフ等で返金、解約、取消されたもの
- ②契約締結や支払いをせずに済んだもの

5 消費者被害・トラブル防止に向けた取組

(1) 消費者教育出前講座

- ・令和4年度は15回開催し677名が受講しました。
- ・高校生等を対象に契約の基礎知識、若者に多い消費者トラブルについての講座を実施しました。
- ・高齢者を対象に消費者被害の現状、悪質商法などにだまされないためのポイントについての講座を実施しました。

(2) 啓発活動

- ・5月の消費者月間、12月の消費者被害防止月間に街頭キャンペーンを計4カ所で実施しました。
- ・啓発チラシ「くらしが変わるカモ！」を年3回発行し全戸回覧しました。

担当： 倉島

連絡先： 0558-24-2206

下田市市民後見人養成講座フォローアップ講座の実施

(賀茂広域消費生活センター)

(概要)

8月31日に開催される下記の講座に当センター職員が出向いて、高齢者・障害者の消費者被害に関する内容の講義、グループワーク等を実施します。

記

- 1 講座名 下田市市民後見人養成講座フォローアップ講座
※賀茂1市5町が共同実施する市民後見人育成事業の一環として実施
- 2 主催 社会福祉法人下田市社会福祉協議会
- 3 日時 令和5年8月31日(木) 10時～11時30分
- 4 会場 下田市民文化会館2階大会議室
- 5 対象者 下田市市民後見人養成講座修了生
- 6 内容
講義：「高齢者・障害者の消費者被害の状況とその防止策について」
講師：賀茂広域消費生活センター所長 倉島浩彰
その他グループワーク、事例検討などを実施

担当： 倉島

連絡先： 0558-24-2206

消費者教育出前講座の実施(高校生等)

(賀茂広域消費生活センター)

(概要)

令和4年4月から成年年齢が引き下げられ、18歳になると未成年者取消権の保護対象から外れることとなり、未成年者取消権がなくなる若者が悪質事業者のターゲットにされることが懸念されています。

つきましては、高校生や専門学校生で成人となる生徒の消費者被害を防止するため、以下のとおり県から講師を派遣して出前講座を実施します。

(出前講座の予定)

日 時	場 所	対 象
令和5年5月23日(火) 13:30~13:50	県立下田高校【実施済】	保護者 210名参加
令和5年5月31日(水) 14:50~16:20	下田看護専門学校【実施済】	1年生 27名参加
令和5年7月13日(木) 11:00~11:50	県立伊豆の国市特別支援学校 伊豆松崎分校【実施済】	1~3年生 15名参加
令和5年9月27日(水) 17:40~19:00	県立下田高校(定時制)	1~4年生
令和6年3月18日(月) 8:45~9:35	県立松崎高校	1~2年生

(内容)

- 成年を迎えるにあたって必要な消費生活の基礎知識
 - ・ 契約やお金の基礎知識
 - ・ 若者が狙われやすい商法
 - ・ ネットショッピングの注意点
 - ・ 暮らしとお金
 - ・ 消費生活センターの紹介 など

担当： 倉島

連絡先： 0558-24-2206